

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 ハイブリッド・サービス株式会社
 コード番号 2743 URL <http://www.hbd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長兼総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 片野 純夫
 (氏名) 池上 純哉
 配当支払開始予定日

TEL 03-6731-3410
 平成25年9月24日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	10,140	△4.9	△25	—	△41	—	△28	—
24年12月期第2四半期	10,665	8.2	213	133.9	154	113.4	95	94.4

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 △6百万円 (—%) 24年12月期第2四半期 106百万円 (49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年12月期第2四半期	△584.65	—
24年12月期第2四半期	1,961.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭	
25年12月期第2四半期	6,752	—	1,642	—	24.3	—	33,598.99	
24年12月期	7,323	—	1,673	—	22.8	—	34,236.21	

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 1,642百万円 24年12月期 1,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年12月期	—	500.00	—	500.00	1,000.00
25年12月期	—	500.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	500.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	21,400	2.3	150	△59.1	106	△64.7	75	△43.7	1,534.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	57,319 株	24年12月期	57,319 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	8,444 株	24年12月期	8,444 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	48,875 株	24年12月期2Q	48,875 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な海外景気等一部に懸念があったものの、安倍政権の経済政策への期待感や、日銀による異次元金融緩和政策等を背景に、一段と円安、株高が進行し、輸出企業を中心に企業業績は改善の兆しも見られました。

このような経済環境のもと、当社グループは、新商材の開拓や既存顧客の活性化に取り組むとともに、輸入商品の仕入価格上昇分の販売価格への転嫁を推し進め利益確保に努めてまいりましたが、度重なる円安の進行により、十分な利幅の確保が困難な状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,140百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失は25百万円（前年同期は営業利益213百万円）、経常損失は41百万円（前年同期は経常利益154百万円）、四半期純損失は28百万円（前年同期は四半期純利益95百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(マーキングサプライ事業)

マーキングサプライ事業は、主に既存顧客への販売促進強化に努めたものの、売上は前年同期を下回りました。また、円安による仕入価格上昇に伴い販売価格の見直しを図ったものの、十分な価格転嫁ができなかったことや他社との価格競争等により営業利益は減少いたしました。商品区分別の売上高では、トナーカートリッジ5,129百万円、インクジェットカートリッジ1,710百万円、MRO304百万円、その他売上362百万円となりました。

以上の結果、当事業における売上高は7,506百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は154百万円（同39.6%減）となりました。

(環境関連事業)

環境関連事業は、太陽光発電システムの販売が順調に推移したことにより、売上が増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は1,197百万円（前年同期比20.7%増）、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(ファシリティ関連事業)

ファシリティ関連事業は、大口の移転案件を獲得したものの、売上は大幅に増加した前年同期に比べ減少いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は345百万円（前年同期比32.7%減）、営業利益は22百万円（同67.9%減）となりました。

(ファニチャー事業)

ファニチャー事業は、輸入家具の売上は低調に推移し、急激な円安の影響による仕入価格の上昇に加え、事業拡大による費用が増加したこと等により、営業損失となりました。

以上の結果、当事業における売上高は434百万円（前年同期比5.9%減）、営業損失は34百万円（前年同期は営業利益60百万円）となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、ラベリング用品の販売が順調に推移した結果、売上高は674百万円（前年同期比1.3%増）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益21百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、商品在庫が増加しましたが、売上債権が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ570百万円減少し、6,752百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、仕入債務や借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ539百万円減少し、5,110百万円となりました。

また、純資産につきましては、利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ31百万円減少し、1,642百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動や投資活動において資金を獲得しましたが、借入金の返済や配当金の支払い等により資金を使用した結果、前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は1,927百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は76百万円（前年同期比36.1%減）となりました。これは主に、仕入債務の減少額499

百万円及びたな卸資産の増加額88百万円があった一方で、売上債権の減少額679百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は23百万円(前年同期は12百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の預入れによる支出41百万円があった一方で、定期預金の払戻しによる収入49百万円、投資有価証券の売却による収入10百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は151百万円(前年同期比11.4%減)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出227百万円があった一方で、長期借入れによる収入100百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月19日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」にて連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、平成25年6月19日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,329,977	2,294,893
受取手形及び売掛金	3,260,698	2,589,838
商品	1,125,649	1,232,972
その他	236,340	262,024
貸倒引当金	△7,520	△7,900
流動資産合計	6,945,147	6,371,829
固定資産		
有形固定資産	29,439	31,021
無形固定資産	8,109	6,883
投資その他の資産		
投資有価証券	54,268	46,520
その他	352,834	363,081
貸倒引当金	△66,663	△66,663
投資その他の資産合計	340,439	342,938
固定資産合計	377,988	380,843
資産合計	7,323,135	6,752,672
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,529,436	2,082,878
短期借入金	2,110,000	2,110,000
1年内返済予定の長期借入金	436,800	435,000
未払法人税等	5,539	12,649
賞与引当金	2,881	3,661
その他	138,410	169,653
流動負債合計	5,223,066	4,813,842
固定負債		
長期借入金	368,200	243,000
退職給付引当金	41,898	37,490
その他	16,675	16,188
固定負債合計	426,774	296,679
負債合計	5,649,840	5,110,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	628,733	628,733
資本剰余金	366,833	366,833
利益剰余金	1,147,138	1,094,126
自己株式	△475,010	△475,010
株主資本合計	1,667,694	1,614,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△856	△1,889
繰延ヘッジ損益	2,018	3,386
為替換算調整勘定	4,438	25,971
その他の包括利益累計額合計	5,600	27,468
純資産合計	1,673,295	1,642,150
負債純資産合計	7,323,135	6,752,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,665,308	10,140,242
売上原価	9,678,128	9,351,439
売上総利益	987,179	788,802
販売費及び一般管理費	773,916	814,381
営業利益又は営業損失(△)	213,263	△25,579
営業外収益		
受取利息	1,772	1,975
受取配当金	117	127
仕入割引	1,982	1,971
その他	1,579	3,571
営業外収益合計	5,451	7,646
営業外費用		
支払利息	17,194	16,659
為替差損	7,207	6,114
貸倒引当金繰入額	39,320	—
その他	908	892
営業外費用合計	64,631	23,666
経常利益又は経常損失(△)	154,083	△41,599
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,486
特別利益合計	—	4,486
特別損失		
固定資産除却損	380	13
特別損失合計	380	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	153,703	△37,126
法人税、住民税及び事業税	3,080	8,601
法人税等調整額	54,767	△17,153
法人税等合計	57,848	△8,551
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	95,855	△28,574
四半期純利益又は四半期純損失(△)	95,855	△28,574

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	95,855	△28,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	859	△1,032
繰延ヘッジ損益	8,223	1,367
為替換算調整勘定	1,766	21,533
その他の包括利益合計	10,849	21,867
四半期包括利益	106,705	△6,706
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,705	△6,706

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	153,703	△37,126
減価償却費	3,941	5,291
貸倒引当金の増減額(△は減少)	47,893	380
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	780
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,849	△4,408
倉庫移転費用引当金の増減額(△は減少)	△22,475	—
受取利息及び受取配当金	△1,889	△2,103
支払利息	17,194	16,659
固定資産除却損	380	13
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,486
売上債権の増減額(△は増加)	753,523	679,004
たな卸資産の増減額(△は増加)	162,954	△88,311
未収入金の増減額(△は増加)	131,748	4,823
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,043,664	△499,485
その他	△51,450	16,403
小計	150,009	87,434
利息及び配当金の受取額	1,703	1,821
利息の支払額	△19,209	△16,395
法人税等の支払額	△18,579	△7,105
法人税等の還付額	5,757	10,719
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,682	76,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△38,905	△41,522
定期預金の払戻による収入	38,905	49,507
有形固定資産の取得による支出	△9,605	△1,349
無形固定資産の取得による支出	△781	△403
投資有価証券の取得による支出	△6,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	10,715
保険積立金の払戻による収入	—	4,996
その他	4,035	1,724
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,351	23,668
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,060,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△1,206,500	△227,000
配当金の支払額	△24,452	△24,408
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,952	△151,408
現金及び現金同等物に係る換算差額	628	15,104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△62,993	△36,161
現金及び現金同等物の期首残高	2,008,901	1,963,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,945,907	1,927,247

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年1月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連 事業	ファシリ ティ関連 事業	ファニチ ャー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,039,767	992,088	511,401	461,338	10,004,596	660,711	10,665,308	—	10,665,308
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,127	—	1,703	—	11,831	5,379	17,211	△17,211	—
計	8,049,894	992,088	513,105	461,338	10,016,427	666,091	10,682,519	△17,211	10,665,308
セグメント利益 又は損失(△)	256,033	△41,309	68,769	60,766	344,260	21,665	365,926	△152,663	213,263

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ラベリング用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△152,663千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△152,665千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成25年1月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティング サプライ 事業	環境関連 事業	ファシリ ティ関連 事業	ファニチ ャー事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,496,443	1,197,247	344,308	434,144	9,472,143	668,098	10,140,242	—	10,140,242
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	10,263	—	1,216	—	11,479	6,735	18,214	△18,214	—
計	7,506,706	1,197,247	345,524	434,144	9,483,623	674,834	10,158,457	△18,214	10,140,242
セグメント利益 又は損失(△)	154,749	△5,860	22,078	△34,753	136,214	△6,093	130,120	△155,700	△25,579

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ラベリング用品の販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△155,700千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△154,424千円が含まれております。その主なものは報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等にかかる費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ファシリティ関連事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(当社株式に対する公開買付けと親会社の異動)

株式会社SAMホールディングス(以下、「SAMホールディングス」といいます。)が平成25年6月24日より実施してございました当社普通株式に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)は平成25年7月22日をもって終了し、SAMホールディングスより本公開買付けにおいて当社の普通株式26,778株を取得した旨の報告を受けました。

この結果、本公開買付けの決済の開始日である平成25年7月26日付で、SAMホールディングスが所有する議決権の当社の総株主等の議決権に対する割合が50%を超えたため、SAMホールディングスは、当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなりました。

また、当社の親会社及び主要株主である筆頭株主であった株式会社エフティコミュニケーションズは、その所有する当社の普通株式の全部について本公開買付けに応募した結果、当社の親会社及び主要株主である筆頭株主に該当しないこととなりました。これに伴い当社の親会社(当社株式の間接保有)であった株式会社光通信についても当社の親会社に該当しないこととなりました。

当該異動の内容は以下のとおりであります。

1. 当該異動に係る親会社及び主要株主の名称、住所、代表者の氏名、事業内容及び資本金の額

① 新たに親会社及び主要株主となるもの

(1) 名称	株式会社SAMホールディングス
(2) 住所	東京都新宿区新宿二丁目5番10号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 佐藤 昌弘
(4) 事業内容	投資事業
(5) 資本金の額	9百万円(設立日である平成25年3月8日現在)

② 親会社及び主要株主でなくなるもの

(1) 名称	株式会社エフティコミュニケーションズ
(2) 住所	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 平崎 敏之
(4) 事業内容	情報通信機器、OA機器及びLED照明の販売、回線サービスの取次、FC加盟店開発・運営、法人向けモバイルソリューション、情報通信機器の施工、保守、サポート、インターネットサービス、ベンチャー企業の支援・育成・投資、ドコモショップ運営、コールセンター運営、他
(5) 資本金の額	1,226百万円(平成25年3月31日現在)

③ 親会社（当社株式の間接保有）でなくなるもの

(1) 名称	株式会社光通信
(2) 住所	東京都豊島区西池袋一丁目4番10号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 玉村 剛史
(4) 事業内容	移動体通信事業、OA 機器販売事業、固定回線取次事業、法人向け携帯電話販売事業、インターネット関連事業、保険代理店事業、ビジネスソリューション事業、他
(5) 資本金の額	54,259百万円（平成25年3月31日現在）

2. 当該異動の前後における当該親会社の所有に係る議決権の数及び総株主等の議決権に対する割合

(1) 株式会社SAMホールディングス

	属性	議決権の数（総株主等の議決権に対する割合）		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	—	—	—	—
異動後	親会社及び主要株主である筆頭株主	26,778個 (54.79%)	—	26,778個 (54.79%)

(2) 株式会社エフティコミュニケーションズ

	属性	議決権の数（総株主等の議決権に対する割合）		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	親会社及び主要株主である筆頭株主	26,778個 (54.79%)	—	26,778個 (54.79%)
異動後	—	728個 (1.49%)	—	728個 (1.49%)

(3) 株式会社光通信

	属性	議決権の数（総株主等の議決権に対する割合）		
		直接所有分	合算対象分	計
異動前	親会社（当社株式の間接保有）	—	26,778個 (54.79%)	26,778個 (54.79%)
異動後	—	—	728個 (1.49%)	728個 (1.49%)

(注1) 異動前及び異動後の「総株主等の議決権に対する割合」は、当社の平成25年6月30日現在の発行済株式総数（57,319株）から、同日現在の自己株式数（8,444株）を控除した株式数（48,875株）に係る議決権48,875個を分母として計算しております。

(注2) 異動前及び異動後の「総株主等の議決権に対する割合」は、小数点以下第三位を四捨五入しております。